

B 子音

以下の項目に2種類の音が並記されている場合は、「無声音」/「有声音」というペアである。無声音/有声音とは、それぞれ「さ」/「ざ」のように、濁点のなし/ありの違いだと思えばよい。

[注意] 母音が後続しない場合、つまり別の子音が続く場合か、語末にある場合、[u]や[o]を加えて発音しないことが重要である。“cup”([kʌp])を「かっぷ」、「cut」([kʌt])を「かっと」と発音してはならない。

(a) [p]/[b]



日本語の「ぱびぶべぼ」「ばびぶべぼ」よりも息を強く吐き出すように発音するのがコツである。

(例) [p] pat, pit, pen please, present
 spin, spot, spend supper, copper

[b] bat, bit, burn blend, breast
 robot, suburb

語末や子音の直前に来る場合は、息を吐き出さず、非常に弱く発音され、ほとんど聞こえない場合もある。

(例) [p] cup, top, step, jeep, keep apt, kept
 [b] cab, rob, globe subset, submarine

(b) [t]/[d]



日本語の「たてと」「だでど」よりも息を強く吐き出すように発音するのがコツである。

(例) [t] take, tip, steel [d] dash, deep, doctor

語末に来る場合は、息を吐き出さず、非常に弱く発音される。

(例) [t] sit, meet, write, late [d] said, mad, side, made

(c) [tʃ]/[dʒ]



日本語の「ち・ちゅ」「ぢ・ぢゅ」よりも息を強く吐き出すように発音するのがコツである。

(例) [tʃ] chance, chest, choose pitcher, butcher
 future, nature, fortune

[dʒ] giant, gesture, engine job, jet, enjoy
 adjust, adjoin

語末に来る場合は、息を吐き出さず、非常に弱く発音される。

(例) [tʃ] catch, switch, watch church, teach, coach
 [dʒ] college, large, village bridge, edge, knowledge

(d) [k]/[g]



日本語の「かきくけこ」「がぎぐげご」と同様であるが、息を強く吐き出すのが基本。

(例) [k] car, cup, cold, country kick, kill
 character, school, chorus quick, quiet, queen ([kw])

[g] game, go, get quest, guide, guitar ([gw]にはならない。)

語末に来る場合は、息を吐き出さず、非常に弱く発音される。

(例) [k] think, bark, walk hike, take, woke
 kick, pack, sock music, public, classic
 [g] dog, leg, rug league, vague

(e) [f]/[v]

上の歯で下唇をかむようにして発音する。日本語の「ふぁ」などのように、唇を丸めて出す音ではない。

- (例) [f] farm, fish, fool coffee, office, different
photo, elephant, telephone
belief, golf, half knife, life, wife
gift, left, soft enough, laugh, tough
[v] vast, very, vote divide, never, every
drive, leave, move

(f) [θ]/[ð]

舌先を歯の間に軽く挟めながら「す」/「ず」というつもりで発音する。

- (例) [θ] thank, threat, thought author, method, something
bath, earth, month
[ð] the, they, there father, brother, weather
bathe, breathe

(g) [s]/[z]

日本語の「さすせそ」「ざずぜぞ」の子音とほとんど同じであるが、強勢のある部分では息を強く出すように発音する。

- (例) [s] sun, sink, song slang, smile, swallow
bus, gas, caps cross, kiss, pass
case, house, mouse
[z] zoo, zero, zone music, reserve, desire
arise, nose, wise maze, prize, haze
jazz, puzzle

[注意] [si(:)]/[zi(:)]を「し」/「じ」と発音しないように注意。

- (例) sea, sit, resist, lazy

(h) [ʃ]/[ʒ]

「しゃししゅしえしよ」「じゃじじゅじえじよ」の子音にほぼ同じ。

- (例) [ʃ] shall, sheed, short mansion, tension
mission, passion, session conscious
sugar, sure assure, issue
musician, special, precious creation, station, patient
[ʒ] measure, pleasure, usual occasion, vision
rouge, mirage

(i) [h]

「はひへほ」の子音にほぼ同じ。

- (例) hat, him, house who, whose, whole

[注意] [hu]と[fu]を混同しないように注意。[fu]は上の歯で下唇をかむ音であるが、[hu]はそうではない。(hood [hú:d] - food [fú:d])

(j) [hw] (アメリカ英語) / [w] (イギリス英語)

綴りがwhで始まる語にはアメリカ英語とイギリス英語とでこのような違いがある。

- (例) when, what, whale, white

(k) [m]

「ま」行の子音とほとんど同じ。

- (例) map, meat, motor smart, smile, smoke
arm, calm, cream dome, shame, time

(l) [n]

「なぬねの」の子音とほとんど同じ。

- (例) nap, nest, not snake, snorkel
ban, pin, sun lane, phone, shine

[注意] [ni]は「に」とは異なる音である。「な」の時と同じ舌の位置で発音するのがコツである。

- (例) neat, knit, sneeze

[注意] 語末や子音の前の[n]は「ん」とは異なる音である。

- (a) [n]は[na]の時と同様に舌先を歯茎の裏側につけて発音される。“pen”をゆっくり発音すると「ペーんぬ」のように聞こえる。

- (b) 「ん」は1拍分に相当するが、[n]はあくまで子音であるので、1拍にはならない。

♪♪ ♪
 ばん ban ([bán])

(m)[ŋ]



[n]に似ているが、[n]が舌先を歯茎の裏につけるのに対して、[ŋ]は舌先をどこにもつけず、息を鼻から抜くようにして発音する。「んく」「んぐ」のように聞こえる音。

(例) pink, think, uncle English, long, sing

(n)[l]



<母音が後続する場合>

舌先を上歯の裏につけて発音する。日本語の「ら」行の音よりも舌先は前方に来る。

(例) like, love, long black, cloud, sleep
allow, collide, shallow

<子音が後続するか語末の場合>

舌先の位置は母音が後続する場合と同じ。「る」ではなく、「う」に近く聞こえる。特に子音が後続する場合は、「う」のつもりで発音すると英語らしく聞こえる。他の子音と同様のことだが、母音を入れて「る」と発音しないこと。

(例) mail, foul, pool file, male, sole
bill, fall, roll help, milk, wild

(o)[r]



<母音が後続する場合>

日本語の「ら」行音では舌先が口蓋（口の中が部屋だとすると、その天井にあたる部分）に触れるのに対して、[r]音は舌先が口蓋に触れない。舌先をどこにもつけずに「ら」と言うつもりで発音すると良い。

(例) radio, rich, run cry, green, very
carry, ferry, sorry wrap, write, wrong
rhythm, rhetoric

<子音が連続するか語末の場合>

前の母音に続けて舌先を口蓋に向けて移動させ、[r]の音を添えるつもりで発音する。イギリス英語では一般にこの音は発音されない。

(例) car, guitar, teacher bird, short, warm
here, fire, more

<[t]/[d]の後の[r]([tr]/[dr])>

[t]/[d]の舌先の位置から[r]の舌先が離れているため、通常[r]とは異なる音になる。[t]/[d]と[r]を組み合わせて1つの音として考えると良い。[t]/[d]の構えから、舌先を口蓋に沿って後方に動かしながら発音する。

(例) train, tree, try strike, street, entry
drive, draw, dry

(p)[w]



「わ」や[u]よりも唇を強くつきだして発音する。

(例) want, wonder, wish twin, between, swan
quiet, question, quick language, liquid, persuade
one, choir [kwáɪər]

(q)[j]



「や」「ゆ」「よ」の子音とほぼ同じ。

(例) yacht, yellow, young familiar, million, opinion
use, utility, uranium Europe, euphemism

他の子音が直前にある場合は、「や」「ゆ」「よ」にほぼ相当すると考えればよい。

(例) fume, music, volume dew, few
beautiful

[注意] “can”や“cat”がそれぞれ「きゃん」「きゃっと」のように聞こえるが、これは[j]音が入っているからではない。[k]の音に続けて、口を横に開く[æ]が続き、さらに強勢を受けた結果としてたまたま「きゃ」のように聞こえるだけに過ぎない。“can”, “cat”はそれぞれ「けあん」「けあっと」のつもりで発音すると良い。

(r) 子音の連続 

日本語には子音が連続することがなく、子音の次は必ず母音に来る。これに対して、英語では子音どうしが連続していることが非常に多くある。このため、子音が連続する部分に母音を挟み込んで発音しないように注意することが大切である。

(例) 2つの子音の連続 after, bright, cloud, football, picture, steam, little,
try, twenty

3つの子音の連続 splendid, spring, street, square, central, children,
asked, next

4つの子音の連続 twelfths, glimpsed, tempts